

製品名: CNK2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09122**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	117kDa

抗原情報

遺伝子名	CNKSR2
別名	CNKSR2; CNK2; KIAA0902; KSR2; Connector enhancer of kinase suppressor of ras 2; Connector enhancer of KSR 2; CNK homolog protein 2; CNK2
遺伝子 ID	22866.0
SwissProt ID	Q8WXI2
免疫原	抗血清はヒト CNK2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 641-690

背景

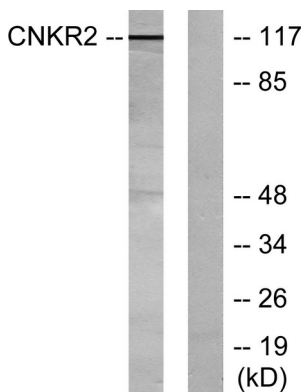
この遺伝子は、Ras の下流にあるミトゲン活性化プロテインキナーゼ経路を媒介する足場タンパク質として機能するマルチドメインタ

ンパク質をコードしています。この遺伝子産物はビタミン D によって誘導され、特定の癌細胞においてアポトーシスを阻害します。また、シナプス後膜におけるシナプスタンパク質の三元複合体の組み立て、およびシグナル伝達と膜/細胞骨格リモデリングの連携にも関与している可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションがみついています。 [RefSeq 提供、2009 年 12 月],機能:Ras シグナル伝達経路のアダプタータンパク質または調節因子として機能する可能性があります。 ,PTM:チロシンがリン酸化されています。 ,類似性:CNKSR ファミリーに属します。 ,類似性:1 つの CRIC ドメインを含みます。 ,類似性:1 つの DUF1170 ドメインを含みます。 ,類似性:1 つの PDZ (DHR) ドメインを含みます。 ,類似性:1 つの PH ドメインを含みます。 ,類似性:1 つの SAM (sterile alpha motif) ドメインを含みます。 ,サブユニット:RAF1、RAB2L、および RAL GTPase タンパク質と相互作用します。 ,

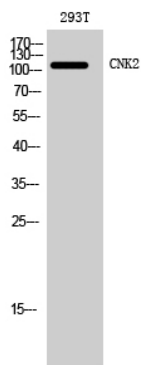
研究分野

-

画像データ



CNKR2 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 500 に希釈した CNK2 ポリクローナル抗体を用いた 293T 細胞のウェスタンブロット解析